

基本計画概要3

— 新旧 加西病院のブレない特長 —

Vol.1.2

2021年1月17日

1. 総まとめ

(1). 基本方針 新旧変わらず

主なゲートウェイ機能 (広義含む)

初期救急

(時間外の小児発熱対応含む)

高度/専門医療への継ぎ目のない橋渡し

例1

患者/ご家族に認知症がある場合の
よろず相談

例2

健康寿命の延伸化に資する医療/介護/
福祉の連携

例3

健康増進情報発信の拠点基地

ネットの時代とは言え、健康を脅かす事態に直面すると個別断片的な解は、本人家族にとってトータルな最適解とはならない場合がある

1. 総まとめ

ご家族が(部分最適な)ネットから一番
おススメのがん専門病院を探せたものの

例1

高度/専門医療への継ぎ目のない橋渡し

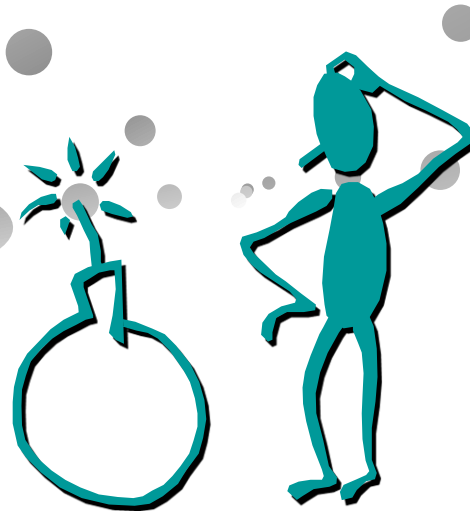
を特に使わない場合

手術後、化学療法や放射線治療など当初計画と違う選択をした場合、途中から面倒見てくれる他院や主治医を探し出すのは極めて困難

がん
難民

認知症や合併症を持つ場合、多くの専門病院では診てくれる場合が低い

予後の経過観察や外来化学療法など遠方の病院でも本人及び家族が対応可能か



経口抗がん剤取得や外来化学療法など垣根の低くなった治療方法を容易に享受できるのか

神大病院を核に近隣3拠点病院とのつながりが強いサテライト加西病院が、
ALL加西診療所までもコンダクト

1. 総まとめ

後期高齢者夫婦で夫が認知症、妻は外来で病変が見つかり、手術で家をしばらく空けないといけない

例2

患者/ご家族に認知症がある場合の
よろず相談

を特に使わない場合

妻の入院治療は、
いつどこでできる
のか

妻の入院治療中は、家で夫が
一人生活していけるのか

夫の社会逃避傾向を妻が絶えず
フォローしてきたものの...

夫も慢性疾患があり、一定の
間隔で通院する必要がある



妻の入院治療に合わせて、地域包括ケア病床を持つ加西病院が
夫をレスパイト入院とし、妻の2つの不安を解消

1. 総まとめ

施設入所中の親が、胃ろうを勧められたものの

例3

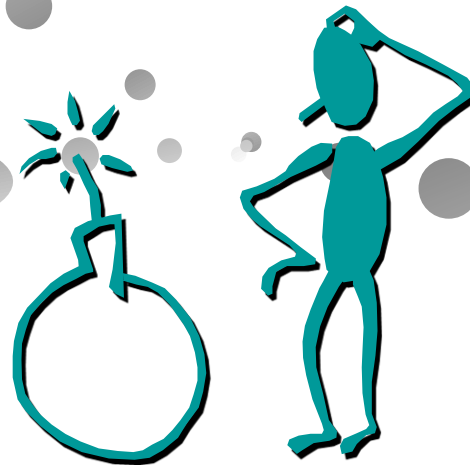
健康寿命の延伸化に資する医療/介護/
福祉の連携

を特に使わない場合

そもそも、施設が勧める胃ろう
は不可避なものか。断れば、施
設を体よく追い出されるのでは
ないか

一旦、胃ろうをしてしまうと二度
と味を感じることができなくなっ
てしまうのでは

施設から戻った場合、親の介
護はだれがするのか



地域に根差したトータル
ソリューション(一族に
とっての最適解)を提供
してくれるとりまとめ提
案を誰かしてくれないも
のか

加西病院が、ワンストップで加西市包括支援センターと連携し、外部リソース情報
を含むご本人及び一族様にとってのご提案を致します

1. 総まとめ

(2) 改築に至る大前提条件

近隣同規模自治体病院に比肩しうる 収益性・効率性のUpの実現が大前提

現在

必達目標

	直近実績	同規模自治体 病院平均値
収益性指標		
病床利用率	84.70%	92.30%
効率性指標		
対給与比率	72.30%	50%代

民ではできない政策医療
等を公立サテライト病院
として提供すべき
原資の確保

100円儲けるのに
108円かかる
収支構造

その上で加西市の政策医療や介護福祉として必要不可欠なものを精査吟味の上
追加を検討

ご清聴ありがとうございました

ワークショップでの手引き

進め方でのお約束

全員参加・それぞれの視点が大切

人の意見を即否定しない

作業時間は短く、人の意見は傾聴

予定調和のゴールを目指さない

Cool Heads but Warm Hearts

